



syoun
絆



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

第10回 病院フェスティバル 開催!



9月24日、記念すべき第10回病院フェスティバルを無事に開催することができました。お陰様で、ご来場者数も500名を超えました。

今年からの試みである公募によるステージ発表、念願のくまモ

ンの参加、屋台での様々な販売、職員がアイデアを出し合った各ブース、そして市民公開講座と大いに盛り上がりました。

ご来場いただいた皆さま、ご出店いただいた皆さま、ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。

第10回目となる病院フェスティバル、ステージ司会を務めさせていただきました研修医1年の木下聡です。今年の病院フェスティバルにおいても、市民公開講座に鏡視下手術体験や縫合体験、健康相談や骨密度測定など、人吉医療センターならではの企画を始め、人吉第一中学校吹奏楽部の演奏やヨガなどのステージイベントの他、スタンプラリーやお楽しみ抽選会など様々な催し物がありました。加えて、今ではすっかりおなじみとなった熊本県PRマスコットキャラクター「くまモン」が病院フェスティバルに来てくださいました。毎年来てくださる五木村PRマスコットキャラクター「いつきちゃん」とのコラボでくまモン体操を披露して下さり、皆様におかれましては楽しい時間をお過ごしされたと思います。

病院フェスティバルは、私達医療従事者が医療を通して学んだことを人吉球磨地方の方々に還元する、という、当初の目的を脈々と受け継ぐものです。このフェスティバルは、病院スタッフが楽しむ、という色合いもありますが、地域の方々に人吉医療セン

ター、予防医学、健康増進というものを知って戴く場であり、人吉医療センターのスタッフが人吉球磨地方の方々と交流を図る場でもあると考えています。病院フェスティバルを通じて、少しでも、人吉医療センター、予防医学、健康増進をご理解して頂ければ幸いです。

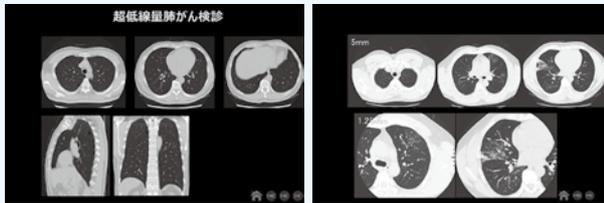
私には周囲を驚かせる発想力や笑わせるユーモアはなく、司会としてステージイベントを進行することに不安いっぱいでしたが、河野達哉先生、的場祐二先生、アシスタントの草場さん、大河内さんを始め様々なお立場からご尽力・ご支援を賜りました皆様のおかげで司会進行役を終えることができたことと感謝しております。

最後に、病院フェスティバルにお越しくくださった皆様、盛り上げてくださった出演者の皆様、スタッフの皆様へ厚く御礼申し上げます。

基幹型臨床研修医 木下 聡

低線量肺がん CT 検診のご案内

肺がんは日本人のがん死亡者数の第1位であり、1年間におよそ7万人が亡くなっています。「肺がんはタバコを吸う人の病気」というイメージが強いですが、近年、我が国の男性肺がんの約3割、女性肺がんの約8割はタバコを吸わない人に発症しています。すなわちタバコ以外の生活習慣や受動喫煙、環境との因果関係もありタバコを吸った事がない人でも十分に注意する必要があります。



CT 検診では通常の胸部 X 線検査では発見することが難しい 1 cm 以下の小さな影や淡い影の肺がんを発見することが可能です。

検診は、大多数の受診者が健康な状態にあるため不必要な放射線被ばくは避けるべきであると考え、低線量肺がん CT 検診では、がんと診断可能な結節影を検出できる通常の CT の約 10 分の 1 程度の放射線量に抑えていますので安心して受診ください。

なお、検査についてのお問い合わせは、人吉医療センター 予防医療センターまでお願いいたします。



JCHO 人吉医療センター 予防医療センター
〒 868-8555 熊本県人吉市老神 35
直通 (0966)22-7070

災害実動訓練をおこないました

平成 29 年 9 月 24 (日)、人吉市総合防災訓練が実施され、当院も共催として、災害実動訓練を行いました。

平日の朝、人吉盆地南縁断層を震源とするマグニチュード 7.1、震度 7～6 弱の地震を観測、多数の被災者が発生した、との被害想定でした。午前 8 時 30 分に発災。職員は退避行動の後、直ちに被災状況の確認と集約を行い、8 時 45 分に当院 4 階に災害対策本部を設置し、医療体制を通常体制から災害医療体制に切り替えました。さっそく、正面玄関前にトリアージエリアを展開し、続々と搬送される被災者を重症から軽症までの緊急度を判定し、それぞれの重症度に応じた医療エリアにおいて救急治療を行いました。今回は外国人の要治療被災者の設定や、指定避難所の人吉高校から多数の被災者が搬送されるなど、より実態に即した想定で行われました。また、栄養管理室では初の取組みとして、備蓄飲食料品の院内搬送訓練も実施。災害時、必要な備蓄物資を円滑に提供すべく、検証と訓練を

行いました。トリアージエリアはもちろん、災害対策本部、病棟その他すべての部署において、実際の災害発生時さながらの緊迫した空気の中で行われた訓練は、発災から 2 時間を経過した 10 時 30 分に終了。参加者数は、当院職員 226 名に加え、被災患者役をお引き受けいただいた地域協力隊の皆さんや、災害時の通信手段として大きな力となる無線通信のご協力をいただいた人吉アマチュア無線クラブの皆さん、そのほか、人吉下球磨消防組合の職員等々、総勢 300 名を超える大規模な訓練となりました。

人吉盆地南縁断層地震や南海トラフ大地震等の発生が懸念される九州地方にあって、当院は人吉下球磨地域における地域医療支援病院としても、また災害拠点病院としても、災害発生時には被災住民に対し速やかに、必要かつ十分な医療を提供する責任があります。今回同様の大規模な災害実動訓練は毎年実施しておりますが、訓練の成果に満足することなく、いつ起こるともわからない災害に備え、発災時には迅速に対応すべく、職員一同努めてまいります。

医事課 外来係長 田崎 裕一



災害実動訓練に参加して

本年度、初めて災害実動訓練に参加させてもらいました。救急搬送後のトリアージで緑判定になった方に処方箋が発行されたら、待機していた薬局スタッフが薬局まで誘導するという訓練でした。

現場でのトリアージや運ばれる患者さんを見るととても緊迫

感があって貴重な体験となり、緊急時の動線を邪魔しないルールも知ることができました。実際に大規模災害が起きた時は、薬局も混雑・混乱することも想定されるため、周辺薬局との連携の必要性も感じました。今回の訓練で不測の事態に何をするのか何ができるか考えるいい機会になりました。

さくら調剤薬局 西村 律雄

下肢静脈瘤の治療について

下肢の静脈がふくらんだものを下肢静脈瘤といいます。長時間の立ち仕事をする方や妊娠出産後に発症することが多いです。静脈瘤は外から見えるので美容上の問題がありますが、それだけでなく下肢のだるさ、こむら返り、むくみ、かゆみなどの症状をきたし、さらに静脈炎、皮膚炎、色素沈着、潰瘍などの合併症を起こすことがあります。下肢静脈瘤は命にかかわるような病気ではありませんが、患者さんにしか分らない悩みがあります。

朝起きて夜床に就くまでの間、下肢の静脈血は、地球の引力に逆らって心臓まで登っていかねばなりません。下肢の静脈には逆流防止弁があり、血液が足の方へ逆流しないような仕組みがあります。伏在静脈という下肢の表在静脈の静脈弁が壊れると下腿に血液が滞ってだるさなどのうっ滞症状を引き起こし、静脈がふくらんで静脈瘤になります。これを伏在型静脈瘤といい、最も多いタイプの静脈瘤です。そのほかに伏在静脈の異常を伴わない静脈瘤もあり、側枝型静脈瘤、網目状静脈瘤、クモの巣状静脈瘤などに分けられます。静脈瘤を治療する時はどのタイプなのか調べる必要があります。

静脈の診断には超音波（エコー）検査が有用です。体に害をおよぼすことなく静脈の血流の異常や深部静脈血栓の有無などがわかります。

静脈瘤の治療法は現在のところ次の4つの方法があります。静脈瘤の種類や程度、自覚症状、血栓性素因などの医学的観点、患者さんの希望などを総合的に判断して治療法を選択します。

- ①簡便な治療としては弾性ストッキングによる圧迫があります。静脈瘤は治りませんがむくみやだるさなどの症状は軽減されます。
- ②クモの巣状静脈瘤や網目状静脈瘤などの小さくて青黒い色の静脈瘤に対しては硬化療法という治療があります。これは静脈瘤の中に硬化剤を注射して静脈瘤をつぶす治療です。
- ③伏在静脈の逆流が原因で起こった静脈瘤に対しては、伏在静脈の逆流を止める治療が必要です。これには



図1 下肢静脈瘤



図2 ストリッピング手術の鼠径部の1cmの切開創



図3 ストリッピング術後

ストリッピング手術と、血管内焼灼術があります。ストリッピング手術は皮膚を切開して伏在静脈を抜き取る手術です。もっとも確実な治療方法ですが、切開が必要です。血管内焼灼術は伏在静脈にカ

テーテルを入れて伏在静脈を焼いてつぶす治療です。焼灼法にはレーザーと高周波の2種類があります。血管内焼灼術は皮膚を切開しないので創がなく、美容上優れています。麻酔法は全身麻酔と局所麻酔（TLA麻酔）があります。全身麻酔は入院が必要ですが、眠っている間に治療が終わり、さらに両足同時に治療ができます。局所麻酔は片足ずつしか治療できませんが日帰りが可能です。当院でも今年から高周波による血管内焼灼術を導入し、治療の選択肢が広がりました。

- ④伏在静脈の逆流を止めると静脈瘤は小さくなりますが、完全に静脈瘤をなくすためには切除が必要です。最近ではスタブアパルジョン法といって2mmの小さな切開で静脈瘤を切除しています。

平成23年から血管内焼灼術が保険で行われるようになり、わが国の下肢静脈瘤の治療は大きく変わってきました。さらに欧米では医療用接着剤で伏在静脈をつぶす治療法が行われており、将来わが国にも導入される可能性があります。当院でも総合的に良いと思われる治療を取り入れていきます。

副院長 下川 恭弘

第9回 人吉医療センター「緩和ケア研修会」募集案内

1. 研修の目的

がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画における「すべてのがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修」（厚生労働省通知）に則り、がん診療に携わる医師等が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得し、がん治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目的とします。

2. 研修会の対象者

がん診療に携わる県内外の医師・薬剤師及び看護師等のコメディカルも参加可能です。

3. 研修会の日程及び会場等

- (1) 開催日時：平成30年1月20日（土）
8時30分～18時30分（予定）
平成30年1月21日（日）8時30分～15時30分（予定）
- (2) 開催場所：JCHO 人吉医療センター 3階講堂
- (3) 参加人数：先着約30名を目処に締め切らせて頂きます。

- (4) 申込期限：平成29年11月22日（水）

「JCHO 人吉医療センター緩和ケア研修会申込書」にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

申込書はホームページ <https://hitoyoshi.jcho.go.jp/> からダウンロードできます。

4. 修了証書の交付

研修修了者には厚生労働省健康局長より「修了証書」を交付します。

※2日間のプログラム中に途中退席等されますと、修了証が出ませんのでご了承下さい。

【問い合わせ先】

JCHO 人吉医療センター
がん相談支援センター 南 秀明・杉松紗織
電話：0966-22-2191（代表）Fax：0966-22-7879
E-mail：minami-hideaki@hitoyoshi.jcho.go.jp

主催：人吉医療センター／後援：熊本県

過労死について

日本人の死亡原因の第2位と第3位を占める虚血性心疾患と脳血管疾患は、働く人々の死亡原因として最も重視されるものです。

その原因には、日常生活習慣や一般社会でのストレスが大きく関与するとされていますが、長時間労働や職場のストレスも大きく関係するとされています。

定義：一般的には過重労働による脳・心臓疾患は過労死と呼ばれています。過労死は、過重な労働負担が誘因となって高血圧や動脈硬化などの基礎疾患が悪化し、脳血管疾患や虚血性心疾患、虚血性心不全などを発症したものをいいます。血管病変を介さないで過労のみによって人が死亡することはないと考えられています。

過労死の原因：

①職場のストレス要因

②職場外の日常生活におけるストレス負荷因子がある。

それに個人的要因や緩和要因が絡み合っ、その総計が一定以上になると発症すると考えられています。

ここで、ちょっとブレイク：小話

過労死という言葉は、医学用語ではなく、社会医学用語です。1970年代の第1次石油危機での経済不況以後、過重な労働中に突然死した人の家族が労災認定を求めて全国的な過労死110番のような運動の中で使われるようになったもので、わが国でも労働週間や考え方の関連が深く、外国でも“Karoushi”と呼ばれています。

*長時間の過重労働（過労死）の視点

・発症前1～6か月にわたって1か月あたりの時間外労働が45

時間以下の時は業務と発症の関連は弱いとみなす。

・発症前1か月におおむね100時間又はおおむね80時間越える時間外労働が認められる場合は、関連は強いとみなす。

【労働時間と脳・心臓疾患】

・1日13時間以上となると脳・心臓疾患のリスクが増加した結果が得られています。

・残業時間と脳・心臓疾患

の関係を調べた報告でも月60時間以上の残業で血圧の上昇が見られています。

【睡眠時間と脳・心臓疾患】

・1日7時間以上の睡眠では脳・心臓疾患の増加はみられず。

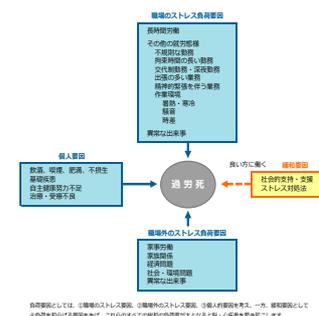
・6時間未満となると、リスクは2倍以上となる。

・4～5時間では心臓機能の著しい低下がみられています。

最後に、過重労働による健康障害（脳・心臓疾患）：過労死の背景メンタル不調を理解したうえで（図1参照）、緩和要因、良い方向に働く要因を活用しましょう。

健康診断を受ける。労働時間を意識する。睡眠時間を意識する。自己のメンタル不調傾向に敏感になる。気分転換を図る。趣味を活かす。カウンセリングを活用する。など、過労死を未然に防止できるように心掛けましょう。

心理カウンセラー 村口 ゆり



第23回 全国大会女性消防操法大会

優勝!!

～人吉市が初の日本一～

全国女性消防操法大会は、女性消防隊（団）の消防技術向上と士気の向上を図り、地域における消防活動の充実に寄与することを目的に昭和60年に第1回大会を開催し、平成9年以降は2年ごとに開催されています。

平成14年に発足した人吉市女性消防隊が今年8月20日に

去る9月30日に「第23回全国大会女性消防操法大会」が秋田県で開催されました。

本大会に熊本県代表として人吉市女性消防隊が出場し、見事優勝することができました。

また、指揮者と1番員、2番員の3選手が第1コースの優秀選手に選ばれ表彰されました。

今回、優勝を勝ち取ることができたのも多くの皆様のご支援やご声援があったからだと思います。また、職場の先輩で女性消防隊の先輩でもある宮原さんにも指導いただき心強く感

開催された県大会で優勝し、第23回全国女性消防操法大会出場の運びとなりました。

大会出席にあたっては、多くの皆様の寄付や励ましもあり、それに答えるかのように期待以上の成績をおさめることができました。

大会に参加したスタッフより、皆様へのご報告とお礼の言葉を掲載いたします。

じました。本当にありがとうございました。

この経験をこれからの消防活動に活かし、地域貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

地域連携室 小田 薫子



地域医療研修を終えて

1か月という大変短い間でしたが、指導医の先生方、研修医の皆さん、また研修のサポートをして下さった事務の方々には大変お世話になりました。

整形外科では筋鈎やクーパーの持ち方から、縫合や糸結びの仕方など、2年目で学ぶには遅すぎるような…内容を丁寧に教えて頂きました。今、熊本市中病院に戻り1週間経ちますが、教えてもらって良かったと思う場面が沢山ありすぎて、感謝しきれません。

また、人吉は温泉や球磨川下りのイメージでしたが、雰囲気ある美味しいお店が沢山あることに驚きました。夜な夜な食べ歩くことができたのも良い思い出です。

色々な方々と関わることができ、実りのある研修を行うことができましたと思います。人吉の皆さんは優しくてユーモアがあり、素敵なお人柄の方ばかりでした。本当にありがとうございました。



熊本大学医学部附属病院
研修医 2年
績 尚子

11月20日－26日は医療安全推進週間です

～わかるまで聞こう、話そう、伝えよう、
良いコミュニケーションが安全・安心をつくります～

毎年度11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間は、厚生労働省による「患者の安全を守るための共同行動」の一環として、「医療安全推進週間」が設けられており、今年度は11月20日～26日です。医療関係者の意識向上や、患者さんの理解と認識を深めてもらうことを目的としています。医療は1人の患者さんに他職種スタッフが関わっています。その「チーム医療」の重要なメンバーは患者さん本人です。厚生労働省から発出される医療安全推進週間ポスターには、「わかるまで聞こう、話そう、伝えよう」のメッセージが小さいながら表示されています。スタッフ同士だけでなく、患者さんとのコミュニケーションも大切に、安全・安心な医療の提供に努めます。

医療安全管理室 永井 香代子



持ってますか？臓器提供意思表示カード

1997年10月16日臓器移植法が施行されました。それに伴い10月は臓器移植普及推進月間・骨髄バンク推進月間として全国で普及啓発活動が行われています。

2010年の臓器移植法の改正により、家族の承諾による脳死臓器提供や、15歳未満の小児脳死臓器提供が可能となり、健康保険証や免許証の裏面には臓器提供意思表示欄が設けられるなど、臓器提供に関する条件や環境が変化しました。その結果、脳死臓器提供件数は増えましたが、心停止後の臓器提供件数を含み大幅な件数増加には至っていません。当院でも、初診時に臓器提供意思表示の有無の確認をしておりますが、まだまだ意思表示をされている方は少ないのが現状です。

そこで10月24日から27日に、熊本赤十字病院の協力を得て、当院2階会計前フロアにて臓器提供意思表示カードや臓器提供に関するパンフレット配布・ポスター展示を行いました。

当院は心停止後の角膜提供が可能な施設です。今年に入り4名のご家族より相談があり2名の方より角膜提供が行われ、4名の方へ角膜移植がされました。いつ、どこで何が起きるかわかりません。ご自身の臓器提供意思表示についても簡単な事ではなく、大変考え深いものがあると思います。多くの方に移植医療へ関心を持って頂き、意思表示の重要性を知り、正しい知識を持ってご自身の臓器提供の意思表示をしていただきたいと思ひます。また、この機会に、ご自身の臓器提供の意思表示と共に、ご家族とも臓器提供についてお話をされてみませんか？



人吉医療センター 院内移植コーディネーター 杉松 紗織

連携施設 探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。

そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は「サービス付き高齢者向け住宅 ゆのまえ「美空」」さんです。

『サービス付き高齢者向け住宅 ゆのまえ「美空」』 Vol.12

【施設の特徴】

ゆのまえ「美空」は、単身の高齢者、高齢のご夫婦等が、安心して居宅できる賃貸住宅です。プライバシーを重視した住宅型の個室、施設内は高齢者に優しいバリアフリー設計ですので、安心安全に、ご自身らしいライフスタイルでお過ごしいただけます。

1. スタッフが24時間常駐
2. 医療機関が隣接
3. デイサービス棟が併設
4. 居宅介護支援や訪問介護にも対応
5. 入居時における多額の一時金不要（敷金のみ）

【対象者】

単身者の場合・・・60歳以上の方
同居の場合・・・60歳以上の本人と、その配偶者および親族

【サービス内容】

サービス付高齢者向け住宅：26名
(1人用居室22室、2人用居室2室)
通所介護（定員20名）
訪問介護
居宅支援事業所

【地域の皆様に一言】

施設見学、デイサービス一日体験、介護相談等、随時受け付けております。お気軽にお立ち寄りください。

【お問い合わせ先】

TEL：0966-43-2110 FAX：0966-43-2114
相談員 那須 和敏

訪問者からの一言

美空の共同キッチンや、併設されているデイサービスのフロア窓から「市房山」をみることができ、窓の外には、最高の自然の景色が広がっていました。玄関のエントランスには、季節を感じさせる置物が飾られ、入居者さん、来訪者の癒しの空間がありました。



正面玄関



リビングの様子

居室の様子

褥瘡防止勉強会開催

10月2日、10日に当院3階講堂にて、床ずれ防止用具メーカー「株式会社ケープ」の方を講師に迎え、褥瘡防止のためのポジショニング講習会が行われました。実際に枕やクッションを使ってのポジショニングの仕方や、無理なく体位変換をする方法などを学びました。今回、被験者となり実際に体験することで、患者さんがクッションやマットを置く位置でどのような違和感や苦痛を感じているかなど知ることができました。また、服の裾をのぼしたり、体位変換時のさわり方・動かし方を変えるなど少しの心がけで褥瘡を防止することができるということで、大変勉強になりました。今後、エコーなど検査する際、体位変換時などに役立っていきたいと思います。



臨床検査部 臨床検査技師 中村 なつき

院内感染対策研修会を受講して

一年前、私は2カ月ほど人吉医療センターで実習をさせていただきました。入職してから初めての冬がきます。10月4、5、6日に行われた感染対策研修会に参加し、これからの季節、気をつけなければいけないインフルエンザの院内感染の経路などを知り、医療人として十分に注意しなければいけないと改めて考えることができました。

研修ではビデオ鑑賞もしましたが、学生の頃には考えたこともなかった、院内感染のアウトブレイク時の感染に関わる情報管理を適切に行う必要があると感じました。自分を守るためだけでなく、家族や職員、療養中の方や一般の方々の健康を守るために自ら対策していくことも大切だと思います。

画像診断センター 診療放射線技師 川崎 里奈

医療現場体験

毎年、人吉球磨地域の中小高生のインターンシップやボランティア実習を受け入れています。今年度も看護職、医療技術、事務職等において見学や体験をしていただきました。目的は、患者さんとの交流や将来の職業に繋がる体験等様々です。

生徒の皆さんは、患者さんやスタッフの話を真剣に聞き実践されています。もしかすると、この体験で人吉球磨の将来の医師や看護師、薬剤師…等が誕生するかもしれません。

参加された皆さんの感想文を紹介いたします。是非、ご一読ください。



人吉第二中学校 3年生

- 医療センターは様々な仕事があるのだとわかりました。それぞれの役割を果たすことが患者さんのためになっているのだと感じました。普段は入ることできない場所も見せていただいたり、色々な方のお話を聞くことができとても充実した2日間でした。
- 興味を持ったのは画像診断センターです。将来就きたい仕事が放射線技師で父も放射線技師なのでとてもすごいと思いました。この2日間いろんな人に様々なことを教えてもらいとてもいい職場体験になりました。
- いつもは体験できないことをたくさんさせていただきました。本当に学びの多い職場体験でした。臨床工学部では重症患者に使用する機械を見せていただいたり、薬剤科では薬が普通薬、劇薬、毒薬に分かれていて管理の仕方が違うことを知りました。臨床

検査部では心電図検査や超音波検査をしました。また、ヘリポートに上り写真を撮りました。少しはしゃぎすぎではと思いましたが、いい経験になりました。本当に2日間ありがとうございました。

相良中学校 3年生

- 私は患者さんを治療するのは先生と看護師だけと思っていましたが、この体験で理学療法士や臨床工学士や臨床検査技師などの様々な職種の仕事があることを学びました。本当にありがとうございました。
- 今回の職場体験で色々な種類の仕事があること、その仕事の役割等をたくさん知ることができました。また、看護体験では患者さんと触れ合ったり、看護師さんの手伝いをしたりとても楽しかったです。今回の経験をこれからの生活にも生かしていきたいです。

新 任 紹 介



おほ 美智子 (7階病棟・看護師)
最終卒業校：麻生医療福祉専門学校
趣味：海外ドラマ・映画を観ること
好きな言葉：なるようになるさ

自分の性格：負けず嫌い

自分のコマーシャル：今まで学んできたことを忘れず、新しい場所でも一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。

10月の勉強会報告

10月12日(木)第89回乳腺カンファレンス

「乳癌肝転移の症例」

協力型臨床研修医 光浦智証

「乳管内乳頭腫病理診断と鑑別」

基幹型臨床研修医 河野達哉

